

令和3年5月28日（金）

全国医学部長病院長会議事務局 会議室（8階）

Web会議にて実施



全国医学部長病院長会議
令和3年度定例社員総会
議事録

一般社団法人 全国医学部長病院長会議

一般社団法人 全国医学部長病院長会議
令和3年度 定例社員総会議事録

1. 開催日時 令和3年5月28日 12時30分～17時00分
2. 開催場所 全国医学部長病院長会議8階会議室（東京都文京区湯島1-3-11）
WEB（ZOOM）会議 併用
3. 会員(社員)総数 164名
4. 出席会員(社員) 164名（うち委任状出席 11名。
152名はWEB会議システムによる参加）
5. 出席理事 湯澤 由紀夫、尾野 恭一、竹石 恭知、天谷 雅行、染矢 俊幸、
中山 淳、須藤 啓広、岩井 一宏、友田 幸一、福永 仁夫、
上田 夏生、小玉 正太、小笠原 邦昭、篠塚 望、瀬戸 泰之、
内田 信一、三木 保、渡辺 雅彦、松山 幸弘、平田 一人、
南 敏明、中尾 一彦、大屋 祐輔、古川 博之、道川 誠、
富澤 一仁、三浦 裕正（湯澤会長以外はWEB会議システムによる参加）
6. 出席監事 別所正美、稲垣 暢也（2名ともWEB会議システムによる参加）
7. 議長 会長 湯澤 由紀夫
8. 議事録作成者 会長 湯澤 由紀夫
9. 議事の経過の要領及びその結果

上記のとおり過半数の社員が出席し本会は適法に成立した。よって、会長 湯澤 由紀夫 は定款の規定により議長席に着き開会を宣し、WEB会議システムにより、出席者の音声即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることが確認されて、議事に入った。

〔会長報告〕

会長から、前回の令和2年5月29日定例社員総会以降から本日までの活動等について報告があった。

〔確認事項〕

前回の令和2年5月29日定例社員総会議事録の確認が行われた。

[審議事項]

第1号議案 理事の選任について

議長は、辞任理事の後任者を補欠選任したい旨を述べ、議場に諮ったところ、いずれも満場一致をもって原案どおり賛成し、下記の者が選任された。なお、被選任者はその就任を承諾した。

記

就任理事	前任者	所属大学名
平田 哲	古川 博之	旭川医科大学病院
平田 修司	中尾 篤人	山梨大学
高橋 智	道川 誠	名古屋市立大学
前田 嘉信	金澤 右	岡山大学病院
杉山 隆	三浦 裕正	愛媛大学医学部附属病院
山縣 和也	富澤 一仁	熊本大学

但し、任期は定款の規定により、前任者の任期満了する時までとする。

議長より、4月30日開催の理事会において、富澤副会長の後任に秋田大学 尾野 恭一 医学部長が推薦され審議の結果了承されたことについて報告があった。

第2号議案 専門委員会・WGの改組、委員長座長の交代について

議長が本議案について説明した。「地域医療検討委員会」と「地域における医師養成の在り方に関する委員会」を統合し、「地域の医療及び医師養成の在り方に関する委員会」と改組すること、「臨床系教員の働き方改革検討ワーキンググループ」を「医師の働き方改革検討委員会」と改組すること、「調査解析検討委員会」を廃止し、「医学部・医科大学の白書調査WG」と「カリキュラム調査WG」を委員会として独立させることについて説明がなされた。

議長がこれを議場に諮ったところ、満場一致をもってこれらに賛成し、いずれも原案どおり承認可決された。

また、交代の申し出があった委員長の後任者を補欠選任し、4月30日開催の理事会において承認されたことについて報告があった。

記

新委員会名	改組内容	委員長
地域の医療及び医師養成の在り方に関する委員会	地域医療検討委員会と、地域における医師養成の在り方に関する委員会を統合	大屋 祐 輔 (琉球大学)
医師の働き方改革検討委員会	臨床系教員の働き方改革検討WGを委員会として再編・独立	横手 幸 太郎 (千葉大学)
医学部・医科大学の白書調査委員会	親委員会(調査解析検討委員会)を廃止し、医学部・医科大学の白書調査WGを委員会として独立	道 川 誠 (名古屋市立大学)
カリキュラム調査委員会	親委員会(調査解析検討委員会)を廃止し、カリキュラム調査WGを委員会として独立	伊 野 美 幸 (聖マリアンナ医科大学)

委員会名	現委員長	後任者
共用試験検討委員会	河野 嘉文（鹿児島大学）	佐藤 慎哉（山形大学）
被災地医療支援委員会	富澤 一仁（熊本大学）	尾野 恭一（秋田大学）

第3号議案・第4号議案 令和2年度事業報告及び収支決算案について

議長の指示に基づき、事務局長 榎山 博が、令和2年度（2020年4月1日から2021年3月31日）における本会議の事業状況について、別添事業報告書をもとに詳細に報告を行った後、同年度に関する本会議の計算書類等について詳細に説明をした。

議長がこれについて監事の報告を求めたところ、監事 別所正美と稲垣 暢也は、計算書類等を綿密に調査した結果いずれも正確かつ適当であることを認めた旨を報告した。

よって、議長はこれを議場に諮ったところ、満場一致をもって原案どおり承認された。

第5号議案 令和3年度事業計画案について

議長の指示に基づき、事務局長 榎山 博が、本会議の令和3年度（2021年4月1日から2022年3月31日まで）の事業計画案について、別紙に基づき詳細に説明をした。

議長がこれを議場に諮ったところ、満場一致をもって賛成し、原案どおり承認可決された。

第6号議案 令和3年度収支予算案について

議長の指示に基づき、事務局長 榎山 博が、本会議の令和3年度（2021年4月1日から2022年3月31日まで）の収支予算案について、別紙に基づき詳細に説明をした。

議長がこれを議場に諮ったところ、満場一致をもって賛成し、原案どおり承認可決された。

第7号議案 会費規程第2条の取扱いについて

議長が本議案について別紙に基づき説明した。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により旅費等の支出が減少したため、令和3年度に限り会費を1大学130万円のところ、1大学50万円に減額する規定改正案について説明がなされた。

議長がこれを議場に諮ったところ、満場一致をもって賛成し、原案どおり承認可決された。

〔講演会〕

(1) 最近の医療情勢とその課題 —新型コロナウイルス感染症対策に向けて—

／日本医師会 中川 俊男会長

(2) 医学教育の現状と課題 ／文部科学省 伊藤 史恵 医学教育課長

(3) 医師の働き方改革と医師需給について ／厚生労働省 山本 英紀 医事課長

[報告事項]

下記の各委員会から、別添資料に基づき、委員会報告がなされた。

(1) 医学教育委員会／齊藤 延人 委員長

令和3年3月に実施した各大学における新型コロナウイルス感染症への対応に関するアンケート調査の結果報告があり、コロナ禍における医学教育の状況は、令和2年度よりも回復傾向にある旨の報告があった。また、本年秋にも同様の調査を実施する予定である旨の説明があった。

(2) 大学医学部入学試験制度検討小委員会／代理 湯澤会長

令和元年度に実施した医学部入学試験に関するアンケート調査の結果を、令和2年12月末に公表し各大学にフィードバックしており、今後も継続して調査を予定している旨の説明があった。

(3) 国家試験改善検討ワーキンググループ／岩間 亨 座長

令和3年2月に行われた第115回医師国家試験についてのアンケートを実施した旨が報告された。また、これまでは委員が在籍する12大学で実施していた受験生を対象としたアンケートを、今年から80大学の学生を対象にWEBでアンケートを実施し、2,138名から回答が得られたという報告があった。結果は8月末に報告予定である。

(4) 卒後臨床研修検討ワーキンググループ／汲田 伸一郎 座長

令和3年3月にオンラインでワーキンググループを開催し、令和2年4月に3回目の改訂が実施された臨床研修制度についてのアンケート調査を令和3年度末までに実施することになった旨の報告があった。

(5) 専門医に関するワーキンググループ／古川 博之 座長

令和3年2月にオンラインでワーキンググループを開催し、「専門医更新時における地域貢献の義務化」、「シーリングの問題点」、「総合診療専門医の研修に関する大学病院のベッド確保」についての話し合いを行った旨の報告があった。AJMCは18学会連合とともに連携して、各学会で横断的な関係を保ち、日本専門医機構に対して歩調を合わせて対応していくことが望まれる、学会側からも医師の地域格差是正についてシーリングを含めた積極的方針を打ち出していくことが望ましいとの考えが示された。

(6) 共用試験検討委員会／佐藤 慎哉 委員長

医師法の改正が可決・成立し、令和5年4月から施行されることになったため、医学教育委員会と連携しながら共用試験の公的化についての対応を議論していきたいとの考えが示された。

(7) 医学部大学院のあり方検討委員会／北川 昌伸 委員長

医学部大学院の現況に関するアンケート調査を実施し、現在調査結果を取りまとめており、今後、調査結果を元に委員会で議論を進め、その内容について報告を予定している旨の説明があった。

(8) DPC（包括評価支払制度）に関するワーキンググループ／林 篤志 座長

4月に実施した医療機関別係数アンケートの集計報告があった。また、7月に、大学病院の医療に関する委員会と合同で厚生労働省保険局医療課の担当者を招きオンライン会議を予定している旨の説明があった。

(9) 地域医療及び医師養成の在り方に関する委員会／大屋 祐輔 委員長

文部科学省の委託事業である地域枠入学制度と地域医療支援センターの実情に関する調査を行い、報告書を作成中である旨の報告があった。従来対面で行ってきた意見交換会はオンラインで

開催した旨の説明があった。令和3年度以降の委託事業費については文科省と調整中である。また、地域枠の臨時定員削減の方向性について、各大学にアンケートを行い、その結果について12月に文科省、厚労省の担当者と意見交換を行ったが、今後、各大学の意向をさらに調査しながら厚労省や文科省に要望書を提出することを考えていきたいとの考えが示された。

(10) 患者安全推進委員会／坂本 哲也 委員長

医療事故調査制度について、また、医療と刑事司法についての検討を続けており、今年度は無過失補償制度についての検討も進めている旨の報告があった。令和2年度に実施した医療事故調査制度に関するアンケート調査については、日本医師会雑誌の6月号に論文として掲載予定であり、令和3年度も経年的な調査を実施し、新たに医療安全管理部門での症例検討の実態について等項目を追加し各大学からの意見を取りまとめる予定である。また、無過失補償制度については、本件の先進国であるフランスについての調査を行い、現地の専門家を交えオンラインで議論する予定である旨の報告があった。乳腺外科医の刑事裁判については、多くの専門家の適切な科学的知見に基づいて、公正、中立で科学的な判断がされることを望んでおり、これについての提言等を取りまとめたいとの考えが示された。

(11) 経営実態・労働環境ワーキンググループ／海野 信也 座長

2年ごとに行っている大学病院経営実態調査を実施する旨の報告があった。今回の調査では、医師の交代勤務制導入の状況、特定看護師の養成や導入に関する取り組み状況等についての質問を追加し調査する旨の説明があった。

(12) 臨床研究・利益相反検討委員会／苜原 稔 委員長

臨床研究法に関するアンケート調査を実施し、その結果を行政に働きかける資料とする予定である旨の説明があった。昨年11月の理事会で承認された「製薬企業の謝金等の受領の在り方に関する提言」について、本提言後における各大学の動向をアンケート調査する予定である旨の説明があった。また、本年4月1日に制定された「人を対象とする生命科学・医学系に関する倫理指針」を踏まえ、現在我々が示しているCOIや臨床研究のガイドライン、指針などについて改訂をしたいとの考えが示された。

(13) 男女共同参画推進委員会／唐澤 久美子 委員長

全国の大学の医師を対象に「男女共同参画に対する意識調査」を実施し、全ての大学からトータルで5,003名分の回答が得られ、結果を取りまとめた旨の報告があった。今年度は世代別や性別における差をデータ化し、もう少し細かい分析を行い、結果を報告したいとの考えが示された。

(14) 広報委員会／天谷 雅行 委員長

ホームページの改訂について委員会で検討し、5月25日に新しいホームページがアップされた旨の報告があった。新ホームページはスマートフォンにも対応している。また、これまで広報誌は紙媒体で配布していたが、今回から紙媒体の作成及び郵送は行わず、最新号の広報誌に関しては、ホームページからPDFをダウンロードできる旨の報告があった。

(15) 医学部・医科大学の白書調査委員会／道川 誠 委員長

2年に1度実施している白書調査を令和2年度に実施し、集計の後、回答を精査し、報告書を取りまとめた旨の報告があった。今回の調査では、教育を受ける側の学生を対象としたアンケートを実施したところが特徴であり、学生の意見や考え方を白書に盛り込んだ旨の説明があった。

(16) カリキュラム調査委員会／伊野 美幸 委員長

2年に1度実施しているカリキュラム調査を今年度実施するため、1月に第1回目のワーキンググループを開催し、今年度の調査内容とグループ分けおよびスケジュールについて検討を行った旨の報告があった。また、新型コロナウイルス感染症についての設問は、医学教育委員会の結果と共に掲載予定である旨の説明があった。

(17) 新型コロナウイルス (COVID-19) に関わる課題対応委員会 / 瀬戸 泰之 委員長

新型コロナウイルス感染症の大学病院に対する影響について、アンケート調査等を行い、重要な局面では委員会で議論し声明を出している旨の報告があった。毎月実施している「新型コロナウイルス感染症に関する大学病院の経営状況調査」では、依然厳しい経営状況にあるという結果であった旨の説明があった。新型コロナウイルス感染症に関する緊急包括支援交付金等の受給状況や、重症の受入れについての調査も実施し、その結果について報告があった。これらのアンケート結果に基づき、厚生労働省等に色々な場を通じて大学病院の役割あるいは要望を伝えている旨の説明があった。

地区部会から提案議題があった東北・北海道地区の齋藤医学部長（札幌医科大学）より地区部会での検討内容について発言があり、遠方の感染拡大地域等の臨床研修病院等の見学や面接、試験等の制限や基準について、意見が交わされた。

つづいて九州地区の橋口医学部長（鹿児島大学）より地区部会での検討内容について発言があり、新型コロナウイルス感染症感染拡大時の遠隔臨床実習について、意見が交わされた。

(18) 医師の働き方改革検討委員会 / 横手 幸太郎 委員長

2020年12月22日の「医師の働き方改革の推進に関する検討会 中間とりまとめ」を受けて、会員へ周知を図るため、「医師の働き方改革セミナー」を2021年2月16日と5月7日に開催した旨、また中間とりまとめにあるように厚労省、文科省をまじえた検討の場を設ける旨の報告があった。

地区部会から提案議題があった関東地区の篠塚病院長（埼玉医科大学病院）より地区部会での検討内容について発言があり、大学病院の医師の裁量労働制について、意見が交わされた。

つづいて、近畿地区の友田学長（関西医科大学）より地区部会での検討内容について発言があり、兼業先の時間外労働を含めた労働時間管理について、意見が交わされた。

〔地区部会報告 提案議題〕

- (1) 臨床研修病院等の見学や面接、試験等について
／東北・北海道地区（説明者：札幌医科大学 齋藤 豪 医学部長）
- (2) 新型コロナウイルス感染症感染拡大時の遠隔臨床実習について
／九州地区（説明者：鹿児島大学 橋口 照人 医学部長）
- (3) 大学病院の医師の裁量労働制について
／関東地区（説明者：埼玉医科大学 篠塚 望 病院長）
- (4) 医師の働き方改革に関する兼業先の時間外労働を含めた労働時間管理について
／近畿地区（説明者：関西医科大学 友田 幸一 学長）

〔その他報告〕

(1) 小児・AYA 世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業について

／厚生労働省健康局がん・疾病対策 古元 重和 課長

(2) 新型コロナウイルス感染症患者の治療に必要な人工呼吸器無償譲渡について

／厚生労働省医政局経済課医療機器政策室 堀岡 伸彦 室長

以上をもって本日の議事が終了したので、議長は閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し、定款の規定に基づき、議長が次に記名押印する。

令和3年5月28日

一般社団法人全国医学部長病院長会議

定例社員総会

議長 会長（代表理事）

湯澤由記夫

